

現地審査 DailyReport(10/11)

現地審査初日の概要を伝えます。

韮山反射炉(12:50~13:40)

審査員はガイダンスセンター前で磯崎猛伊豆の国市副市長の出迎えを受けた。磯崎副市長は「ジオパークとは



昨年12月、包括連携協定を結んだ。世界文化遺産とジオパークが双方の特徴を生かし、相乗効果が出ることを期待している」とあいさつ。次いで、工藤雄一郎市文化財課長の案内で反射炉



を見て回った。審査員からは「なぜこの場所に反射炉が建てられたのか」「建造当時の働いていた人たちの記録は残っているのか」といった質問が出た。さらにジオパークの研究員を交えて、今後、どのように連携を深めるかをめぐって意見交換した。

わさび田(14:30~16:30)

審査員はE-Bike(電動アシスト自転車)を使って、安藤裕夫ジオガイドの案内で伊豆市筏場のわさび田ツアーを体験した。小嵐橋ではわさび生産者・塩谷美博さんが収穫したばかりのわさびの株を手にとり、わさびの栽培方法や歴史などを説明。審査員は初めて見るわさびに興味津々で、「何種類くらいあるのか」「種類ごとの見分けはつくのか」「花は咲くのか」といった質問が矢継ぎ早に飛んだ。また、わさび漬け屋のたか惣に寄り、高村範利さんの指導の下で、実際にわさびのすりおろし体験を楽しんだ。ピリッとするわさびの辛味に驚きつつも、さつま揚げなどにつけて楽しんでいった。小嵐橋では、朝日克彦研究員が、世界農業遺産とコラボして制作したジオ解説板を紹介した。

